

## 目次

- (1) 交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン発刊のご挨拶
- (2) 交通バリアフリー法基本構想策定状況
- (3) エコモの活動報告
  - 交通バリアフリー推進セミナー報告書を作成中
  - 写真で見る交通バリアフリー事例集を作成
  - 標準案内用図記号が JIS 化
  - らくらくおでかけネットが公開
  - ECOMO の発刊
  - やさしさ評価（簡易版）の実施について
  - すべての人にやさしいトイレをめざして
- (4) ネットワーク加盟団体の活動報告
  - 東京ハンディキャブ連絡会
- (5) 行政の活動報告
  - 国土交通省総合政策局交通消費者行政課について
  - 鉄軌道駅のバリアフリー化の状況（らくらくおでかけ度一覧表）が公表
  - 交通バリアフリー介助パンフレットの配布

（「お手伝いしましょうか - 交通ボランティアのすすめ」）
- (6) 各種催し物のお知らせ
  - 第 25 回土木計画学研究発表会（春）大会
  - 第 5 回日本福祉のまちづくり学会
  - 第 6 回 DPI 世界会議
  - 国際ユニバーサルデザイン会議 2002
- (7) その他
  - 書籍について
  - 記事募集中
  - お願い

こらむ

～バリアフリー推進部職員紹介～

---

(1) 交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン発刊のご挨拶  
～発刊にあたって～

<発刊までの経緯>

交通バリアフリー推進支援連絡協議会(バリアフリー推進ネットワーク)が発足してまもなく半年になるようしております。お陰様で、このネットワークに参加頂いた団体や関係する各位のご支援と協働で実施してきた交通バリアフリー推進セミナーも、全国を10ブロックに分けての「全国行脚」をひとまず、無事終了することが出来ました。深く感謝申し上げます。

ただ、事務局である私共の不慣れ、能力不足から、せっかく立ち上げたネットワークについては、十分な機能を発揮していないのではないかと、更に言えば、発揮し得る基盤自体が整備されていないのではないかとという反省から、まず、その第一歩として、情報の交換、連絡体制を整備しようと考えました。これがメールマガジンの発刊に至る動機であります。

<メールマガジンについて>

このメールマガジンは、伊丹宣言における「参画」と「協働」、「連携」を可能とするインフラの1つとなればと期待しております。そのため、ネットワークの機関紙としての性格に加え、この問題に関心を持つ、幅広い関係者(例えば、学識経験者、行政、公共団体、ボランティア活動に携わる市民等、交通、建設事業者、マスコミ)にも輪を広げ、情報の交換と共有、様々な呼びかけの場とすることを目指したいと考えております。

基本的な編集方針は、月刊を当面の目標とする、手間と必要の節約のため、E-mail通信とする、内容は、ネットワークから、交通エコモ財団から、行政(国土交通省)から、ネットワーク加盟団体から、その他の関係者から、の情報発信を基本とし、事務局からの肩のこらないコラム等を適宜加える、ということで、当面、スタートしてみたいと考えております。

なお、行政サイドにおいては、中央に「交通バリアフリー法関係省庁連絡会議」(事務局:国土交通省総合政策局交通消費者行政課)、地方に「交通バリアフリー法関係地方機関連絡会議」(事務局:地方運輸局・地方整備局、地方運輸局は、企画部地域交通企画課、7月から交通環境部消費者行政課)が関係省庁の検討、情報交換の場として設置されているほか、全国10ブロック毎に、国の関係機関、市町村、道府県等が参加する「交通バリアフリー化促進パッチャル協議会」が2月末に発足、各機関間の連携の強化、情報の交換、共有体制が整備されたところであり、私共のネットワークも必要に応じ、これらの行政サイドとコンタクトを持っていきたいと考えております。

この通信が機能していくかどうか、皆様方のお役に立てるものに育っていくかどうか、その鍵を握る、皆様方のこの通信への積極的な「参画」「支援」「ご意見・要望」をお願いし、発刊の挨拶といたします。また、宣伝めいて恐縮ですが、当財団のホームページにおいても、バリアフリー情報の提供を行っておりますので(ネットワーク及び伊丹宣言もここで紹介しております)こちらの活用もよろしくをお願いいたします。(理事長 金丸純一)

(2) 交通バリアフリー法基本構想策定状況

これまでの基本構想策定状況 15市町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区

詳細に関しては、国土交通省総合政策局交通消費者行政課のホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/mokuji\\_.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/mokuji_.html)

(3) エコモの活動報告

交通バリアフリー推進セミナー報告書を作成中

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/TMP1006413807.htm](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/TMP1006413807.htm)

昨年6月から開催されてきました交通バリアフリー推進セミナーが、3月1日をもって終了しました。このセミナーは、交通バリアフリー法における基本構想作成の推進を目指して、

市町村、交通事業者、当事者団体等を対象に、北海道から沖縄まで全国 10 カ所で開催しました。現在、報告書を作成中です。

平成 14 年度は、同種のセミナーを国土交通省で実施することが検討されています。

写真で見る交通バリアフリー事例集を作成（大成出版社 TEL：03-3321-4131）

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html)

今後バリアフリー化に取り組んでいく自治体、交通事業者並びにバリアフリーに取り組んでいらっしゃる方々の参考になるよう、様々な取り組みについて、よりわかりやすくするため写真を多く取り入れた書籍です。書店にて発売しております。

標準案内用図記号が JIS 化

平成 11～12 年度における日本財団の助成事業として、一般案内用図記号検討委員会（委員長森地茂教授、東京大学）で、「標準案内用図記号」125 項目が平成 13 年 3 月に決定しました。その後、日本標準調査会標準部会基本技術専門委員会において 125 項目のうち 104 項目の JIS（日本工業規格）化案が了承され、3 月 20 日に JISZ8210 として制定されました。なお、平成 12 年 10 月に日本で開催された ISO の一般案内用図記号分科委員会において、国際標準化に向け提案されており、現在 ISO において検討が行われています。

現在、当財団のホームページからダウンロードすることができます（無料）。また、ひと目でわかるシンボルサイン標準案内用図記号ガイドブックを出版し、書店にて販売しております。（大成出版社 TEL：03-3321-4131）

らくらくおでかけネットが公開 <http://ecomo.mri.co.jp/rakuraku/index/>

高齢者や身体障害者等が公共交通機関をより便利に利用できるように、旅客施設内の施設について検索できるシステムを国土交通省が開発し、エコモ財団が運営しています。このシステムが、2001 年 10 月 1 日より試験公開を行ってきましたが、寄せられたご意見などをもとに、システムや情報内容などの修正を行い、2002 年 1 月 25 日より正式公開に移行いたしました。正式公開から 3 月 31 日までのアクセス数は 68,094 件、一日平均約 1,000 件ご利用頂いております。

ECOMO の発刊

エコモ財団の事業内容の紹介が満載された第 12 号の ECOMO が、4 月 12 日に発刊されます。ご希望の方は、ご連絡ください。お送りいたします。

やさしさ評価（簡易版）の実施について

平成 11 年度から始まった、当財団による公共交通ターミナルのバリアフリー度評価が評価駅数合計 201 駅をもって終了いたしました。今後は、地域に根付いたボランティア、市民グループ、学生等が自主的に評価に取り組み、駅等のバリアフリー化のインセンティブ向上を図っていくことが必要です。これまでの評価基準は、専門家等による調査および評価が必要となるものであったため、これまでの基準をベースとして、必ずしも専門的ではない市民グループ等も自らが調査および評価し、結果をまとめることを可能とするため、新たに簡易版の評価基準を作成し、さらに結果をまとめるためのインターフェースを構築しました。今後、ホームページ等で公開していく予定です。

すべての人にやさしいトイレをめざして（大成出版社 TEL：03-3321-4131）

平成 12 年 8 月に発刊された公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドラインの中で、公共トイレの設計に携わる方、整備主体の方等多くのトイレに関係している方に、公共トイレの考え方、問題点についてご理解頂くためにまとめた書籍です。書店にて販売しております。

#### (4) ネットワーク加盟団体の活動報告

東京ハンディキャブ連絡会(東京ハンディキャブ連絡会 FAX ニュースより)

- ・区市町村対象の移送サービス説明会準備プロジェクトが開催

去る3月30日東京ボランティア・市民活動センター(東京・飯田橋)において、区市町村対象の移送サービス説明会準備プロジェクトの報告が行われた。民間非営利団体の行う移動サービスに関して、様々な視点からの報告。

- ・東京都内移送サービス実施団体ガイドブック2002年3月版発行

移送サービスに関する情報がまとめられている。

発行:2002年3月未定 配布価格:2,000円

お問い合わせは、東京ハンディキャブ連絡会 TEL&FAX0426-36-6807 まで

- ・2002年第6回DPI世界会議札幌大会への協力

10月15~18日の大会開催中、成田空港-羽田空港間の送迎を、東京ハンディキャブ連絡会、横浜移動サービス協議会、埼玉県移送サービスネットワークの3団体で行うことになりました。

お問い合わせは、東京ハンディキャブ連絡会 TEL&FAX0426-36-6807 もしくは、各移送サービス地域ネットワーク団体まで

#### (5) 行政の活動報告

国土交通省総合政策局交通消費者行政課について

国土交通省総合政策局は、国土交通省の総合的かつ基本的な方針の企画・立案や各局横断的な施策のとりまとめなどを行っている部局で、その中で、交通消費者行政課は、公共交通機関のバリアフリー化に取り組んでいます。

鉄軌道駅のバリアフリー化の状況(らくらくおでかけ度一覧表)が公表

今年の1月より本格的に公開されているおでかけネットですが、現在掲載されている1日当たりの平均的な利用者数5,000人以上の鉄軌道駅を中心とする3,361駅のバリアフリー化の状況(らくらくおでかけ度)が、4月9日(火)に記者発表されました。らくらく度は、単独で利用可能な駅を「」(1,199駅)、簡単な介助が必要な駅を「」(526駅)、段差が残っている駅を「」(1,636駅)で示しています。詳細は国土交通省のホームページに掲載されています。

交通バリアフリー介助パンフレットの配布

(「お手伝いしましょうか-交通ボランティアのすすめ」)

高齢者、身体障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするためには、施設整備のみならず、どのようにサポートをすればよいのかをわかりやすい形で情報提供していくことが重要です。このため、国土交通省では、駅において「お手伝いしましょうか-交通ボランティアのすすめ」というパンフレットを一般向けに添付し、情報の提供を行うこととしました。

#### (6) 各種催し物のお知らせ

第25回土木計画学研究発表会(春)大会 <http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~furuya/>

6月5日(水)~7日(金)の3日間。名古屋大学にて開催。

連絡先:愛知県名古屋市千種区不老町

第5回日本福祉のまちづくり学会 <http://www.jice.or.jp/fukushi/index.html>

8月8日(木)~10日(土)の3日間。

熊本市民会館(熊本市桜町1-3 TEL096-355-5235)にて開催。

第6回DPI世界会議 <http://homepage2.nifty.com/dpi-japan/6sapporo/sapporo1.htm>

10月15日~18日の4日間。道立体育総合センターきたえーるにて開催(札幌市)

国際ユニバーサルデザイン会議 2002 <http://www.ud2002.org/index-j.html>

11月30日～12月4日の5日間。パシフィコ横浜にて開催。

連絡先：相鉄エージェンシー / パシフィック・コンベンション・サービス

TEL : 045-450-7003 E-mail : [info@ud2002.org](mailto:info@ud2002.org)

#### (7) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍を発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

[http://www.ecomo.or.jp/barier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barier_free/bari_f_index.html)

エコモ財団より出版

- ・公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン
- ・交通バリアフリー介助マニュアル
- ・旅客船バリアフリー ～設計マニュアル
- ・標準案内用図記号ガイドライン
- ・安心して移動できる社会を目指して
- ・交通拠点のサインシステム計画ガイドブック

他出版社より出版（大成出版社 TEL : 03-3321-4131）

- ・交通バリアフリー事例集
- ・すべての人にやさしいトイレをめざして
- ・ひと目でわかるシンボルサイン標準案内用図記号ガイドブック
- ・究極のバリアフリー駅を目指して

#### 記事募集中！

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告など何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールか FAX でお送りください。

E-mail : [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp) FAX : 03-3221-6674

お願い

発刊挨拶にも書かせて頂きましたが、このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。

#### こらむ

～バリアフリー推進部職員紹介～

高田実（理事）

クオリティ・オブ・ライフを追求し、生活者重視のまちづくりに貢献して参りたいと思っております。

メールマガジンを通じて、皆様の御意見が聞けることを楽しみにしております。

岩佐徳太郎（バリアフリー推進部長）

最近、物理的なバリアフリーの進展は目覚ましいものがありますね。この間、東京駅で券売機の前に緑のプレザーを着た案内の人（サービスマネージャー）がいました。困った方への案内を専門にする方です。こういう方がいらっしやると助かりますね。

この4月から、国土交通省では各駅に介助のパンフレットを置くそうです。

菅井秀彦

今年度は旅客船、旅客船ターミナルの事業者の方にバリアフリー施設、設備の設置時に助成金を交付し、海上交通のバリアフリー化を推進する事業を担当し、日夜奮闘しております。ご質問等がありましたら、私までご連絡をお待ちしております。

沢田大輔

本年4月1日よりバリアフリー推進部で勤務することになった沢田大輔です。

早く職場に慣れて、皆さんと強力なネットワークをつくり、多様な人がより快適に移動できる基盤づくりに全力を挙げたいと思います！

趣味はお酒を適量飲むこと。ビールが大好きです。

藤田光宏

どっちつかずの岐阜県出身 27 歳男です。休日に自転車で出かけることが大好きです。日々楽しく、かつ真剣に仕事に励みます！ よろしくお祈いします。

本田恵子

このメールマガジンを担当している本田です。初めての発行なのでわからないことが多く、読みづらいところがあると思いますが、御意見をいただければと思います。また、このメールマガジンをより多くの方にお送りしたいので、ご興味ありそうな方がいらっしゃったらご紹介頂ければと思います。よろしくお祈いします。

益子宏美

今年から知的障害者の交通調査を担当することになりました。まだまだわからないところがありますが、少しでもみなさんのお役にたてるようにながらいたいと思っています。

渡辺かおる

ネットワークを通して、皆様からご指導を頂き勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお祈いいたします。

